

## 令和 8 年度外国人留学生に対する各種奨学金奨学生募集要項

注意：例年通知している本募集について、今回から「申請資格」が大きく変わります。よくご確認ください。国費外国人留学生および JICA 派遣留学生も申請することができます。また、今回から「面接」がなくなり、書類審査のみで実施するので、提出書類に不備がないよう、ご注意ください。

令和 8 年度における外国人留学生に対する各種奨学金奨学生（留学生受入れ促進プログラム（文部科学省外国人留学生学習奨励費）就職支援枠、その他民間奨学金等）への推薦は、この募集要項に基づき留学生を選考し、複数の奨学金に順次推薦していくための優先順位を決定したうえで行う。順位や選考結果を申請者に一斉に通知はしない。選考後、来年度に該当する奨学金があれば順次推薦の連絡をするため、後日大学から学務情報システムメールで連絡が来た際に対応すること。

なお、申請は年 1 回のため（2 次募集は行わない）、令和 8 年度に奨学金の受給を希望する者は必ず申請すること。申請しなかった者は、令和 8 年度には奨学金の推薦は行わないので注意すること。

また、令和 9 年度公益財団法人 KDDI 財団外国人留学生奨学生募集、公益財団法人平和中島財団外国人留学生奨学金及び公益財団法人佐藤陽国際奨学財団私費留学奨学生等の募集は、令和 8 年 7 月～9 月頃通知があると予想され、令和 9 年度の私費外国人留学生に対する各種奨学金奨学生募集以前に締切られることになるため、この募集要項による順位に基づき推薦を行う。

## 1 申請資格

令和 8 年 4 月以降に「留学」の在留資格を有する見込みがあり、以下の(1)又は(2)に該当する者で、かつ(3)と(4)の条件を満たす者。なお、(5)については、これに該当する者。

(1) 令和 8 年 4 月に本学の学部又は大学院に正規生として在籍する外国人留学生（令和 8 年 4 月時点で外国政府派遣留学生、新次世代プロジェクト採用者、日本学術振興会特別研究員の者を除く）

(2) 令和 7 年 8 月から翌年 3 月の間に、令和 8 年 4 月に本学の大学院に入学するための入学試験を受ける予定の者。ただし、本募集への申請時点において本学に在学している者に限る。

なお、入学試験の結果、令和 8 年 4 月に正規生として入学できない場合は、推薦順位より除外する。

(3) 現時点で、標準修業年限で卒業/修了できる見込みの者。

(4) 令和 8 年度に奨学金を受ける予定がないか、月額 117,000 円（学部）、144,000 円（修士課程）145,000 円（博士課程）以下の奨学金を受ける予定になっている者

(5) 同居する配偶者が奨学金を受給していても応募することができる。また、既就職者の配偶者と同居している場合は、配偶者の収入が年間 500 万円未満の場合のみ応募することができる。

## 2 申請手続

奨学金を希望する者は、次の書類を国際部国際交流推進課に電子メールで提出する。

- (1) 奨学金申請調書Ⅰ [別紙様式1]
- (2) 学部生は申請調書Ⅱa [別紙様式2]、  
大学院生及び大学院入学予定者は申請調書Ⅱb [別紙様式3]
- (3) 申請理由書（指導教員所見を含む） [別紙様式4]（※指導教員から別途提出することも可とする。）
- (4) 昨年度（令和7年4月入学者は今年度前期分）の学業成績証明書。令和7年10月入学者に関しては、入学前に在学していた課程の、直近1年間分の学業成績証明書。
- (5) 提出書類確認票

## 3 申請期間

令和7年10月3日（金）8時30分（日本時間）から10月15日（水）12時00分（日本時間）まで

（申請期間を過ぎてからの申請は受け付けすることができないので注意すること。）

## 4 申請書提出先（電子メール送付先）

intl-scholarship@ge.niigata-u.ac.jp（国際部国際交流推進課）

提出の際は、メール本文に「在籍番号」「アルファベットの氏名」を明記してください。  
（提出後、大学から受領確認メールは送付されません。）

## 5 推薦順位の決定及び配点基準

推薦順位の決定は、学部は「在籍年次、成績」、大学院は「在籍年次、成績、研究評価」により行われる。

それぞれの区分の点数配分は、以下に示すとおりである。

### (1) 在籍年次、成績、研究評価の点数配分

在籍年次、成績、研究評価を下記の割合で点数配分する。

- ① 学部 在籍年次：成績 → 「1：1」
- ② 大学院 在籍年次：成績：研究評価 → 「4：3：6」

## 6 申請者への通知

推薦することが内定した者には、当該奨学財団等からの募集通知について、部局を通じて令和8年10月末日までに順次通知する。

## 7 その他

- (1) 申請者への連絡は学務情報システムメールのみにて行うので、電子メールの受信確認を怠らないこと。
- (2) 現在受給中の奨学金（文部科学省「国費」、外国政府、民間財団、企業等）、その他

の収入については、本人及び配偶者について特に正確に記入すること。

- (3) 申請調書の記載もれ又は虚偽の記載が認められた場合は、申請者登録名簿から抹消することがあるので注意すること。
- (4) 申請者全員が各種奨学財団等に推薦されるとは限らない。また、推薦された場合も採用されるとは限らない。
- (5) 国費外国人留学生や JICA 派遣留学生を推薦できる民間奨学金等は、現状、極めて少ないため、選考の結果順位が高くても推薦できない場合が多い。また、国費外国人留学生、新潟大学基金受給者および JICA 派遣留学生は、留学生受入れ促進プログラム（文部科学省外国人留学生学習奨励費）へ推薦することができない。

# 令和8年度奨学金申請調書 I

※

学籍番号		在留資格		「留学」以外のビザ変更 予定年月( . . )	写真貼付 6か月以内に撮影した 写真を貼付。 上半身、正面、脱帽 4cm×3cm 裏面に氏名を記入。
氏名 (フリガナ)					
氏名 (ローマ字)					
生年月日		国籍			
現住所					
出身大学又は高校					
学校名:		所在地:		入学年月:	卒業年月:
申請時の在籍状況					
	学 部 研究科 (M / D)		学科 専攻	年次	入学年月:
令和8年4月の在籍予定					
	学 部 研究科 (M / D)		学科 専攻	年次	
研究指導教員名					

## 家族状況

氏名	本人との関係	年齢	住所 (国・都市名)	勤務先・学校名
	配偶者			
	父			
	母			

## 収入等

申請者の収入	仕送り	円/月	仕送り人続柄	
	奨学金等	円/月	奨学金名:	
	奨学金等	円/月	受給期間:	
	アルバイト	円/月	奨学金名:	
	その他	円/月	受給期間:	
	その他	円/月	内容:	
合計	円/月	前期授業料免除 (いずれかに○)	免除なし ・ 半額 ・ 全額	
配偶者の収入 (日本在住の場合に記入)	奨学金	円/月	奨学金名:	
	給与・その他	円/月	受給期間:	
		円/月	内容:	

- \* ※印欄については記入しないこと。
- \* 「同居していない者(出身国にいる者)も含めて、全員を記入すること。
- \* 4月時点で外国政府派遣学生・新次世代プロジェクト採用者・日本学術振興会特別研究員は申請不可です。

申請日: 令和 年 月 日

## 申請調書Ⅱ a

在籍番号 \_\_\_\_\_

所 属 \_\_\_\_\_ 学部

氏 名 \_\_\_\_\_

### 1 学習状況及び学習計画

### 2 卒業後、日本国内での就職希望の有無（いずれかに○をしてください。）

日本での就職を 希望する（学部を卒業後・大学院に進学後） ・ 希望しない

### 3 卒業後の予定及び希望（上記2で「希望する」を選択した場合、その展望を含め記載してください）

### 4 経済状況（特に困っていること等）

### 5 国際交流に関する活動状況（具体的に記入してください。）

① これまでの活動：

② 今後の活動：

6 あなたの日本語能力について、以下から選択し、最も近いと思われるところの【 】に○を記入してください。分からない場合は、以下のサイトを参考にしてください。

●日本語能力試験「N1～N5認定の目安」<https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>

【 】 幅広い場面で使われる日本語を理解することができる (N1相当)

【 】 日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる (N2相当)

【 】 日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる (N3相当)

【 】 基本的な日本語を理解することができる (N4相当)

【 】 基本的な日本語をある程度理解することができる (N5相当)

【 】 ほとんど日本語を理解することができない。(Beginner)

【6の補足】

6については、選考に影響しません。ありのままご記入ください。

(行数が足りない場合は、行を増やして記入すること)

## 申請調書Ⅱb

在籍番号 \_\_\_\_\_

所属 \_\_\_\_\_ 研究科 \_\_\_\_\_ 課程 \_\_\_\_\_

※令和8年4月時点での在籍予定

氏名 \_\_\_\_\_

### 1 研究課題

### 2 研究内容

### 3 修了後、日本国内での就職希望の有無（いずれかに○をしてください。）

日本での就職を、

希望する（ 現課程を修了後 ・  進学後）

希望しない

### 4 修了後の予定及び希望（3で「希望する」を選択した場合、その展望を含め記載してください。）

また、そのために、どのような努力をしていますか。

(別紙様式3) 大学院生及び大学院入学予定者のみ提出

5 社会活動（特に国際交流・地域交流）について、これまでに行ったことを具体的に記載してください。

※本シートの以下内容について、記載事項に虚偽が無い（特に学会発表回数、論文件数について）、必ず指導教員のチェックを受けること。また、本シート内の注意点を熟読すること。

6 査読付きの、国際誌における発表（投稿中含む）論文数： \_\_\_\_ 報

うち、筆頭著者の論文数： \_\_\_\_ 報

投稿中の論文数： \_\_\_\_ 報・

①著者名（共著の場合は全員を掲載） ②論文題目 ③掲載誌名等 ④掲載誌の発行機関 ⑤発行号数  
⑥ページ数 ⑦掲載年を記入すること。（記入のない場合は評価の対象外となります。）

7 査読付きの、国内誌における発表（投稿中含む）論文数： \_\_\_\_ 報

うち、筆頭著者の論文数： \_\_\_\_ 報

投稿中の論文数 : \_\_\_\_ 報

（行数が足りない場合は、行を増やすか別紙（様式任意）を添付してください）

(別紙様式3) 大学院生及び大学院入学予定者のみ提出

- ①著者名（共著の場合は全員を掲載） ②論文題目 ③掲載誌名等 ④掲載誌の発行機関 ⑤発行号数  
⑥ページ数 ⑦掲載年を記入すること。（記入のない場合は評価の対象外となります。）

【6、7の注意点】

・「査読」とは…投稿された論文をその学問分野の専門家が読んで、内容の査定を行うことです。

・研究論文とはみなされない出版物（大学内の学報や、研究室紹介文など）は含まれません。

・学位論文は、含まれません。

8 国際会議（学会含む）における発表回数： \_\_\_\_回

（うち、筆頭演者として発表したもの： \_\_\_\_回）

①発表題目 ②会議名 ③会場 ④発表年月 ⑤ポスター発表か口頭での発表かを記入すること。

（記入のない場合は評価の対象外となります。）

9 国内会議（学会含む）における発表回数： \_\_\_\_回

（うち、筆頭演者として発表したもの： \_\_\_\_回）

①発表題目 ②会議名 ③会場 ④発表年月 ⑤ポスター発表か口頭での発表かを記入すること。

（記入のない場合は評価の対象外となります。）

（行数が足りない場合は、行を増やすか別紙（様式任意）を添付してください）

(別紙様式3) 大学院生及び大学院入学予定者のみ提出

【8、9の注意点】

申請者本人が国際会議や学会で口頭発表あるいはポスター説明を行ったものに限る。ここでいう国際会議や国内学会とは組織委員会が正式に設けられ、社会的に広く認知されたものを指し、学内での発表会や特定研究室でのセミナー発表などは含まれない。申請時点で既に参加済みのものに限る。

、

10 あなたの日本語能力について、以下から選択し、最も近いと思われるところの【 】に○を記入してください。分からない場合は、以下のサイトを参考にしてください。

●日本語能力試験「N1～N5認定の目安」<https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>

- 【 】 幅広い場面で使われる日本語を理解することができる (N1相当)
- 【 】 日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる (N2相当)
- 【 】 日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる (N3相当)
- 【 】 基本的な日本語を理解することができる (N4相当)
- 【 】 基本的な日本語をある程度理解することができる (N5相当)
- 【 】 ほとんど日本語を理解することができない。(Beginner)

【10の補足】

10については、選考に影響しません。ありのままご記入ください。

(別紙様式4)

## 申請理由書

(申請者記入欄)

所属		氏名		国籍	
申請理由：					

(指導教員記入欄)

<指導教員所見>	
※申請者本人が2026年4月時点で大学院生の場合、以下をチェック☑願います。 <input type="checkbox"/> 学生作成の「申請調書Ⅱb」が虚偽無く記入されていることを確認しました。 (特に学会発表回数，論文件数について)	
<指導教員>	令和 年 月 日
所属 _____ 職・氏名 _____	⑩ (内線: _____)

※別紙様式4は，指導教員から別途提出することも可とする。

※教員は，記名押印または自筆での署名が必要

(提出書類確認票)

※ この確認票は申請書類と一緒に提出してください。

※ 受付番号(担当職員記入)

- 太枠内を記入してください。
- 申請期間: 令和7年10月3日(金)8時30分 ~ 10月15日(水)12時00分
- 提出方法: 申請者本人が電子メールで国際交流推進課 (intl-scholarship@ge.niigata-u.ac.jp) へ提出してください。提出の際は、メール本文に「在籍番号」「アルファベットの氏名」を明記してください。

在籍番号	
申請時所属	(学部) (学科) (研究科) (課程) 専攻
氏名(カタカナ)	
氏名(ローマ字)	
電話番号	

### 令和8年度外国人留学生に対する各種奨学金提出書類確認票

チェック欄		申請書類	提出者に関わる 注意事項	備考
担当職員	申請者			
		令和8年度奨学金申請調書 I (別紙様式1)	全員	
		申請調書 II a(別紙様式2)	学部生のみ	
		申請調書 II b(別紙様式3)	大学院生(大学院へ 入学予定の者含む) のみ	記載事項が正しいかどうか、指導教員のチェックを受けること。
		申請理由書(別紙様式4)	全員	指導教員から別途提出することも可。教員の押印、または自筆の署名いずれかが必要。
		学業成績証明書(昨年度(令和7年4月入学者は今年度前期分)の学業成績証明書。令和7年10月入学者に関しては、入学前に在学していた課程の、直近1年間分の学業成績証明書)	全員	
		提出書類確認票(この書類)	全員	

## 記入例①

## 令和8年度奨学金申請調書 I

※

学籍番号	T22X000A	在留資格	留学	「留学」以外のビザ変更 予定年月( . . )	
氏名 (フリガナ)	ニイガタ タロウ				
氏名 (ローマ字)	NIIGATA Tarou				
生年月日	2002/1/23	国籍	中国		
現住所	新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地 アパート名 123 号				
出身大学又は高校					
学校名: ○○第一中学校	所在地: 中国・広東省		入学年月: 2018年9月	卒業年月: 2022年6月	
申請時の在籍状況					
工	学部 研究科 (M / D)	工	学科 専攻	年次 4	入学年月: 2022年4月
令和8年4月の在籍予定					
大学院総合学術	学部 研究科 (M / D)	自然科学専攻 システム創 成・基礎科学プログラム	学科 専攻	年次 1	
研究指導教員名	佐藤 ○○ 教授				

## 家族状況

氏名	本人との関係	年齢	住所 (国・都市名)	勤務先・学校名
	配偶者			
NIIGATA Pear	父	55	中国・広東省	○○会社
NIIGATA Banana	母	50	中国・広東省	△△会社
NIIGATA Berry	妹	20	スリランカ・△△市	○○大学

## 収入等

申請者の収入	仕送り	50,000 円/月	仕送り人続柄	父
	奨学金	20,000 円/月	奨学金名: △△奨学財団奨学金 受給期間: 2025年4月~2026年3月	
アルバイト	30,000 円/月	内容: スーパーマーケット(レジ)		
その他		円/月	内容:	
合計	100,000 円/月	前期授業料免除 (いずれかに○)	免除なし・半額・全額	
配偶者の収入 (日本在住の場合に記入)	奨学金	円/月	奨学金名: 受給期間:	
	給与・その他	円/月	内容:	

\* ※印欄については記入しないこと。

\* 「同居していない者(出身国にいる者)も含めて、全員を記入すること。

\* 4月時点で外国政府派遣学生・新次世代プロジェクト採用者・日本学術振興会特別研究員は申請不可です。

申請日: 令和 ○年 ○月 ○日

## 記入例②

## 令和8年度奨学金申請調書 I

※

学籍番号	Z25X000A	在留資格	留学	「留学」以外のビザ変更 予定年月( . . )	
氏名 (フリガナ)	ニイガタ タロウ				
氏名 (ローマ字)	NIIGATA Tarou				
生年月日	2000/1/23	国籍	中国		
現住所	新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地 アパート名 123 号				
出身大学又は高校					
学校名: 新潟大学	所在地: 日本・新潟市	入学年月: 2021年4月	卒業年月: 2025年3月		
申請時の在籍状況					
大学院現代社会文化	学部 研究科 (M/D)	社会文化	学科 専攻	年次 1	入学年月: 2025年4月
令和8年4月の在籍予定					
大学院現代社会文化	学部 研究科 (M/D)	社会文化	学科 専攻	年次 2	
研究指導教員名	佐藤 OO 教授				

## 家族状況

氏名	本人との関係	年齢	住所 (国・都市名)	勤務先・学校名
	配偶者			
NIIGATA Pear	父	55	中国・広東省	OO会社
NIIGATA Banana	母	50	中国・広東省	△△会社
NIIGATA Berry	妹	20	スリランカ・△△市	OO大学

## 収入等

申請者の収入	仕送り	70,000	円/月	仕送り人続柄	母
	奨学金			円/月	奨学金名: 受給期間:
アルバイト	30,000	円/月	内容: スーパーマーケット(レジ)		
その他			円/月	内容:	
合計	100,000	円/月	前期授業料免除 (いずれかに○)	免除なし・半額・全額	
配偶者の収入 (日本在住の場合に記入)	奨学金		円/月	奨学金名: 受給期間:	
	給与・その他		円/月	内容:	

\* ※印欄については記入しないこと。

\* 「同居していない者(出身国にいる者)も含めて、全員を記入すること。

\* 4月時点で外国政府派遣学生・新次世代プロジェクト採用者・日本学術振興会特別研究員は申請不可です。

申請日: 令和 ○年 ○月 ○日

## 記入例③

## 令和8年度奨学金申請調書 I

※

学籍番号	Z25X000A	在留資格	留学	「留学」以外のビザ変更 予定年月( . . )	
氏名 (フリガナ)	ニイガタ タロウ				
氏名 (ローマ字)	NIIGATA Tarou				
生年月日	1995/1/23	国籍	中国		
現住所	新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地 アパート名 123 号				
出身大学又は高校					
学校名: 新潟大学大学院	所在地: 日本・新潟市	入学年月: 2022年4月	卒業年月: 2025年3月		
申請時の在籍状況					
大学院現代社会文化	学部 研究科 (M/D)	共生社会研究	学科 専攻	年次 1	入学年月: 2025年4月
令和8年4月の在籍予定					
大学院現代社会文化	学部 研究科 (M/D)	共生社会研究	学科 専攻	年次 2	
研究指導教員名	佐藤 OO 教授				

## 家族状況

氏名	本人との関係	年齢	住所 (国・都市名)	勤務先・学校名
NIIGATA Peach	配偶者	30	日本・新潟市	新潟大学・学生
NIIGATA Pear	父	55	中国・広東省	OO会社
NIIGATA Banana	母	50	中国・広東省	無職
NIIGATA Berry	妹	20	スリランカ・△△市	OO大学
NIIGATA Ineko	子	3	日本・新潟市	無職

## 収入等

申請者の収入	仕送り	円/月	仕送り人続柄	
	奨学金	円/月	奨学金名: 受給期間:	
アルバイト	円/月	内容:		
その他	20,000 円/月	内容: 研究アシスタント		
合計	20,000 円/月	前期授業料免除 (いずれかに○)	免除なし ・ 半額 ・ 全額	
配偶者の収入 (日本在住の場合に記入)	奨学金	100,000 円/月	奨学金名: △△奨学財団奨学金 受給期間: 2024年4月~2026年3月	
	給与・その他	30,000 円/月	内容: アルバイト(スーパーマーケットレジ)	

\* ※印欄については記入しないこと。

\* 「同居していない者(出身国にいる者)も含めて、全員を記入すること。

\* 4月時点で外国政府派遣学生・新次世代プロジェクト採用者・日本学術振興会特別研究員は申請不可です。

申請日: 令和 ○年 ○月 ○日